

美濃はつらつ通信



水田に映える久留米ツツジ：田中功夫さん所有（河内）

世帯数 159世帯
人口 362人
高齢化率 48・6%
(4月末日現在)

美濃地区振興センター・美濃公民館

美濃地町イ140-1 ☎29-0031

「地域を明るく！」地区民が休耕田にヒマワリの種蒔き

5月17日

地域力アップ応援事業の一環としてスタートしたヒマワリ栽培が今年で4年目を迎え、先ごろ地区民による種蒔きが行われました。

当日は朝7時から、小・中学生を含めた地区民約70人が本郷下の空き地に集合。種を手に休耕田4か所全60㌖に、約2時間かけ蒔き終えました。今回の参加者は昨年に比べ約2倍に増加したこともあって、普段は顔を合わす機会が少ない人たち同士が和気あいあいと共同作業を楽しみました。夏の開花後は種を収穫し、油を採取する予定。



好天に恵まれ、にぎやかに行われた種蒔き。休憩時には、有志による手作り菓子が振る舞われた

春の交通安全街頭指導

5月13日



春の交通安全運動に合わせ、美濃地区交通対策協議会（三浦満会長）及び交通安全協会（大庭壽克支部長）による街頭指導が今年も河野商店前で行われました。午前7時から街頭に立った10人の地区会員は約1時間、小野駐在所の上野俊正巡査部長の指導のもと、ドライバーにジャスミンの会員が手作りした可愛いマスコットやピアを配るなどして交通安全を呼びかけました。

安全運転を呼び掛けマスコットやピアを配る協議会役員



美濃地八幡宮に伝わる約3百年前の獅子頭

12年前、神社境内にあった祖霊社の中から発見された貴重な木彫りの獅子頭2面が、島根県埋蔵文化財調査センター及び益田市文化財課の調査をもとに公開されています。調査によると、朱塗りの獅子頭は元禄15年（1702）河内村の茂右門という人が五穀豊穡、子孫繁栄を願って寄進したもので、またもう一方の金箔張りの獅子頭は安永2年（1773）に清水喜右衛門という人が寄進したもので、いずれも迫力ある表情が特徴的。保存状態が良かったことから、傷みが少なく近世初めの獅子頭の技法・容形を知る上で極めて貴重な文化財となっています。（※獅子頭の鑑賞希望者は同八幡宮の中島宮司まで申し出て下さい）



朱塗りの獅子頭
幅36㌢、長さ42㌢、高さ25・5㌢で木質は桐。今から133年前、長洲に住む81歳の人物が彫ったもの

金の獅子頭
幅36㌢、長さ39・5㌢、高さ20・5㌢で木質は枹。津和野稻成神社が建立された同じ年に寄進されている



「城九郎」の地名の謎に迫る！

—美濃地町・城九郎地区—

人の名前のような風変わりな地名“城九郎”が何に由来するものなのか、これまで謎とされてきました。

源頼朝によって開かれた鎌倉幕府は、全国に守護・地頭を置き、武家社会の支配を始めます。

そこで頼朝の命で城九郎に赴任してきたのが、近江三上山の大百足を退治したという、あの伝説の人物・俵藤太秀郷の末裔とされる有福右衛門是持です。

有福氏は396年間、20代にわたって連綿とこの地で栄え数々の足跡を残しました。そして特別な関係にあった益田氏が関ヶ原の合戦後（1601年）須佐に転封すると、それに従い須佐に移ります。

江戸中～後期の農学者・石田春律（大田村の庄屋）が著わした「石見八重葎」には、城九郎の地名について、当地を開拓した名主に由来すると記されています。



斜面を彩る「芝桜」
本郷後 原隆義さん宅

原さん宅では家の後の斜面を生かし、10年前から芝桜を植え始めたそうです。その後補植や草取りなど手入れを行い、今年もごらんのようピンクや白い花が咲き、華やかにあたりを彩りました。

お 礼

美濃地区社会福祉協議会に対し、ご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。川村 小夜子 様

6月の行事予定

- ◆ 1日（月） 胃がん検診
（美濃地区振興センター）
8：50～9：15
- ◆ 7日（日） 前期河川清掃（基準日）
- ◆ 24日（水） 第1回ふれあい給食
プレスレットづくり
- ◆ // 美濃地区振興センター
運営委員会 19：30～
- ◆ 29日（月） 第1回健康相談
（美濃地区振興センター）
10：00～11：30
- ◆ 5日（金） 交通安全協会美濃支部役員会
19：30～地区振興センター

ぶらい
美濃さんぽ
「城九郎編」①

須佐に移った有福氏は、松崎八幡宮神社前に、広大な邸を構えていたと伝えられていますが、有福家最後の当主が戦後間もなく朝鮮で亡くなったため、家系は途絶え、系図などの資料は亡失したとのこと。

ところが、益田家文書「従石見御国替之砌御家来組分●人付之帳」（須佐町誌から）には、石見から須佐に移った家臣の中に“有福九郎兵衛（仲間18人）”の名前が記録されていました。

これが石見八重葎に書かれていた地名の根拠であるとすれば、地名の謎は解明されます。

本郷下の椋木摸一さん宅には、有福氏が残していったと伝えられる「阿弥陀如来像」が安置され、静かに時を刻んでいます。



有福氏の館があった場所と伝えられる
下城九郎・コブケにある“屋敷田”

椋木家に伝わる木仏の弥陀如来立像。元は同家所有の阿弥陀堂という地名の場所に安置されていたという

美濃公民館で開催されている教室（カッコ内は代表者名）

- 舞踊（竹内洋子） ●民謡（河野益子） ●3B体操（三浦ヒサノ） ●太極拳（真庭千代美） ●絵手紙（青木誠）
- 卓球（三浦ヒサノ） ●カラオケ（河野益子） ●健康ボクシング（中島正紀） ●銭太鼓（河野益子）

囲碁を楽しみませんか



囲碁仲間を募集します。ご希望の方は公民館までご連絡下さい。

6月の診療予定日

火曜日	木曜日
	4日 (村野医院)
9日 (神崎内科)	11日 (林医院)
	18日 (中島クリニック)
23日 (神崎内科)	25日 (澄川クリニック)

診療時間 13：30～